

農政局だより@ひょうご

2023.1
H-SATT

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp

近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の
選定証を授与しました

近畿農政局兵庫県拠点は、近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第6回）選定証授与式を開催し、ビジネス・イノベーション部門で選ばれたプラスワングループ（川西市）と兵庫県立香住高等学校海洋科学科（香美町）に対して、選定証の授与を行いました。

プラスワングループでは、地域農産物にこだわり、新鮮な状態で提供が可能な凍結技術を用いた冷凍介護食の製造と販売を行っています。この技術の確立により事業者は売上が増加し、生産者も出荷量の増加により所得向上につながっています。

兵庫県立香住高等学校海洋科学科では、地域関係者と連携し、水産業に関する取組を通じた地域活性化に取り組んでいます。地元漁協と連携し低利用水産物を活用した缶詰を開発したり、自然学校に参加する小学生に缶詰製造を通じた食育を行うことにより、水産に興味を持つ小学生の増加に向けた取組に寄与しています。



選定証授与式後は、意見交換を行いました。取組の経緯や、今後の活動の展開方法などのお話を伺いました。



取組内容の詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/jirei/2022/muranotakara.html>

意見交換の様子

令和5年度農林水産関係予算概算決定について

令和4年12月23日に令和5年度農林水産予算が概算決定しました。総額は2兆2,683億円ですが、先に取りまとめた令和4年度第2次補正予算の8,306億円と合わせて一体的に運用してまいります。

本予算では、「食料安全保障の強化に向けた構造転換対策」、「生産基盤の強化と経営所得安定対策の着実な実施」、「農林水産物・食品の輸出力強化、食品産業の強化」、「環境負荷低減に資する『みどりの食料システム戦略』の実現にむけた政策の推進」を始め、11項目を重点事項としています。

主要事業の概要資料（PR版）などは、こちらに掲載されていますのでご覧ください。

詳細はこちら <https://www.maff.go.jp/j/budget/r5kettei.html>



～移住して5年・地域で任される存在に～

〈遊楽里農園代表・中島秀志さん〉

宍粟市で農業・化学肥料を使用しない農業とカフェ経営をされている遊楽里農園代表の中島秀志さんにお話を伺いました。

－農業を始められたきっかけは－

以前は石川県に住んで会社勤めをしていましたが、50歳になったら農園とカフェをやりたいと考え、2017年に宍粟市に移住しました。兵庫県が親身になって移住相談に乗ってくれたこと、移住先見学ツアーで良い物件が見つかったことが宍粟市に移住する決め手になりました。

たつの市の農園で1年間修行した後、遊楽里農園を始めると同時に、農園内の野菜を使ったランチのお店「自然菜園cafe遊楽里」をオープンしました。



－どのような農業をされていますか－

宍粟市に移住するまで農業の経験はなかったのですが、前向きに努力しているうちに地域の農地を任せいただけるようになり、今では1町2反の農地で年間60～70種類の野菜と米を栽培しています。

農業を始めた当初は手探りだったものの、今はバーク堆肥、EMぼかし、ヘアリーベッチ等の緑肥、竹チップをうまく組み合わせ土づくりをしています。

農薬や化学肥料を使用しないため収量は落ちますが、生産者自身で価格を決められる産直やネット販売も活用して、収益を確保する工夫をしています。

今、当農園で力を入れている野菜は「ヤーコン」。知らない人が多いと思いますが、見た目はさつまいものように、味や食感は梨に似ています。とても体に良い野菜で、生食のサラダでも、煮ても、焼いても、揚げてもどの料理でも美味しく絶品です。



掘りたてのヤーコン

－今後の目標は－

環境にやさしい方法で栽培された農産物をセレクトしたお店を開いて、地域の皆様が買い物をする場所を作りたいです。また、生ごみなどの地域にあるものを活かした有機堆肥を作り地域の方に配っていかれたらと考えています。いずれも構想段階ですが、地域の皆様に喜ばれるような仕組みを作っていけたらと思っています。



ゆったりくつろげるカフェ

令和4年度輸出に取り組む優良事業者表彰の 受賞者が決まりました

我が国の農林水産物・食品の輸出の優良な取組を広く紹介することにより、輸出促進を図るため、輸出に取り組む事業者のうち、特に優れた事業者に対して表彰を行っています。

兵庫県内の受賞者

輸出・国際局長賞

津田宇水産株式会社
(兵庫県たつの市)

冷凍殻付牡蠣
冷凍ハーフシェル
冷凍牡蠣むき身

・シンガポール
・台湾
・ベトナム
・香港 他

漁師が世界に！美味しい牡蠣を届ける仕組み構築

輸出成功のノウハウやヒントが詰まった事例を紹介していますので是非、ご覧ください。

受賞者の取組内容の詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/attach/pdf/221215-2.pdf>



2023年の恵方巻きは ぜひ予約購入を！



今年の節分、恵方巻を食べようと考えている人も多いのではないのでしょうか。

多くのコンビニや食品スーパーでは、予約購入を呼び掛けています。

恵方巻のロスを削減するためにも、予約購入が効果的です。

消費者の皆様におかれましては、是非、予約購入の検討をお願いします。

食料・農業・農村基本法の検証・見直しについて

食料・農業・農村基本法（以下「基本法」）は、**制定から約20年が経過**し、その間に、国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化など、**農業構造が大きく変化**しており、また、昨今では、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、気候変動、海外市場の拡大等、**我が国農業をとりまく情勢が制定時には想定されなかったレベルで変化**しています。

このような状況を踏まえ、基本法制定後初めての法改正を見据え、食料・農業・農村政策審議会の下に総合的な検証・見直しを行うための**基本法検証部会**を設け、各方面から様々な意見を伺いながら、**国民的コンセンサスを形成するための議論**を進めています。

基本法検証部会の今後の進め方

令和4年 第1回基本法検証部会の開催
10月18日 以降、月2回程度のペースで有識者ヒアリング、施策の検証、意見交換等を実施



（テーマ）

- ・食料の安定供給の確保（食料安全保障、輸出促進を含む）
- ・農業の持続的な発展
- ・農村の振興
- ・多面的機能の発揮

令和5年 上記のヒアリングや検証等を踏まえた議論

6月頃 **食料・農業・農村政策の新たな展開方向を取りまとめ**

これまでの有識者ヒアリングのテーマ

- ・第1回 10月18日 食料の輸入リスク
- ・第2回 11月 2日 国内市場の将来展望と輸出の役割
- ・第3回 11月11日 国際的な食料安全保障に関する考え方
- ・第4回 11月25日 人口減少下における担い手の確保
- ・第5回 12月 9日 需要に応じた生産
- ・第6回 12月23日 食料安定供給のための生産性向上・技術開発
- ・第7回 1月13日 持続可能な農業の確立



基本法検証部会HPは
[こちら](#)



食料・農業・農村基本法HPは
[こちら](#)

動物検疫所からのお知らせ

要注意！海外から肉や肉製品の持込みは禁止！

ASF（アフリカ豚熱）等の家畜の伝染病の侵入を防ぐためです

ASF（アフリカ豚熱）が世界中で猛威を振るっています。

ASFウイルスは、海外から持ち込まれた肉や肉製品によって**日本へ侵入するおそれ**があります。

日本国内でASFが発生すると、養豚産業に甚大な損害を与えるだけでなく、消費者の皆様にとっても豚肉の価格が高騰するなど大きな影響を及ぼす可能性があります。

現在、アジアなど、日本の近隣国でも発生しているASFなどの家畜伝染病を水際で防ぐため、**海外からの肉や肉製品の持込みには厳しい対応**がとられています。

ご旅行やお仕事等で海外にいかれる際は、ご理解とご協力をお願いします。

郵便物内に肉製品等が入っていた場合は、右記まで速やかにお知らせください。



農林水産省 動物検疫所

神戸支所 検疫課

TEL：078-222-8990

（8:30～17:00日曜、祝日を除く）

「鳥獣被害防止オンラインセミナー」を開催します

野生鳥獣による獣害は、営農意欲の低下による離農や耕作放棄地の増加につながり、農山漁村へ被害金額以上に深刻な影響を及ぼしています。

兵庫県拠点では、**鳥獣被害に悩まされている農業者**の課題解決の一助となるよう、また、鳥獣害防止のノウハウを習得できるよう、兵庫県森林動物研究センター、丹波篠山市のご協力を得てオンラインによるセミナーを開催します。

・日時：2023年3月3日（金）13:30～16:00

・開催方法：オンライン会議（WebeX）

当日のプログラム、応募方法等については2月初めに兵庫県拠点ホームページでご案内します。



「令和4年度お米・ごはん推進フォーラム」が開催されます



おいしいごはんを食べよう県民運動

令和4年度 お米・ごはん推進フォーラム

ごはん食と体づくり
～アスリートに学ぶ
ごはん食の大切さ～

おいしいごはんを食べよう県民運動の一環として「お米・ごはん」を中心とした健康的な日本型食生活を推進するとともに、食や「農」の大切さを広く県民にアピールするため、アスリートの体作りとごはん食に関するパネルディスカッションと、令和4年度(第25回)お弁当・おむすびコンテストの最優秀賞(兵庫県知事賞)受賞者への表彰式が開催されます。

- ・日時 令和5年2月18日(土) 13:30～15:30(予定)
- ・場所 兵庫県公館 大会議室(神戸市中央区下山手通4-4-1)
- ・定員 会場参加100名、オンライン参加100名(申込先着順)

- ・内容 ①令和4年度(第25回)お弁当・おむすびコンテスト表彰式
②パネルディスカッション:「ごはん食と体づくり～アスリートに学ぶごはん食の大切さ～」

参加
無料

申込方法

【締切日】令和5年2月10日(金) ※郵送の場合は締切までに必着

【インターネット・FAX・郵送】下記の情報を記載の上お申し込みください

①会場参加orオンライン参加の希望②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦E-mailアドレス⑧参加人数⑨情報配慮の希望(手話通訳・要約筆記・車椅子での参加 ※希望がなければ実施なし)を明記をご記入の上、インターネット・FAX・郵送のいずれかにてお申し込みください。

・インターネット:<https://www.kiss-fm.co.jp/evt/gohan-forum-r4>

・FAX:078-322-1007

・郵送:〒650-8589 神戸市中央区波止場町5-6

Kiss FM KOBE内 お米・ごはん推進フォーラム事務局



「ごはん情報満載」の
ホームページはこちら

<https://www.gokumi.com/>

おいしいごはんを食べよう

検索

◇問い合わせ先◇

お米・ごはん推進フォーラム事務局
(Kiss FM KOBE内)

TEL:078-322-0899(平日10:00～17:00)

※電話での申込みは受け付けておりません。



参加者募集!

令和5年
2/15水
オンライン
2部開催
みどりの食料システム戦略
に関する
食品スーパー・卸と生産者
との意見交換会

テーマ:環境に配慮した農産物の取引と
求める農産物についての現状と課題

参加方法等詳細は

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/syokuhinkigyo/230110.html>

近畿農政局では、環境に配慮した農産物の取引を拡大する観点から、生産者(農業者団体含む)と食品スーパー等をつなぐ意見交換会(Zoom)を開催します。

環境に配慮した農産物の生産者の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



兵庫の冬の風景

但馬の冬の風物詩“ズワイガニ”



兵庫県北部に位置する 但馬地域。日本海沿岸には良港が並び、捕獲量、売上高ともに全国トップレベルのズワイガニの産地です。

日本国内でコロナの感染者が確認されて3年、今年は行動制限がなく久しぶりに故郷(ふるさと)へ帰省された方も多かったと思いますが、年末年始の休暇も明けて、新たな気持ちで新年をお迎えのことと存じます。
農林水産省では、制定から20年以上を経過した食料・農業・基本法の改正に向けた検証・見直しの議論を開始し、国民的な合意を形成するために幅広くご意見を頂戴いたします。(K・H)



地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしております。

TEL:078-331-5924 FAX:078-331-5177